

株式会社 NTTフィールドテクノ 社会インフラ設備の台帳整備 と 住民申告の一元化

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）
 【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）
 【事業方式】 コンセッション / その他のPFI 包括的民間委託 / その他（ ）

NTT フィールドテクノが保有・取得している各種画像データを基に、AIを活用することで社会インフラ設備のデータ抽出を行うことで台帳整備・劣化診断を行うことができる。この技術を用いて、設備情報と地域住民からの住民申告情報・修繕履歴等を統合することで、現地対応や対応記録管理の効率化実現を提案する。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

【解決する課題】

- 社会インフラの設備台帳が存在していない／更新されていない
 - + 設備点検履歴が管理されていない
- 住民からの申告履歴や社会インフラ設備の修繕履歴が管理されていない
 - + 窓口自体が機能的に運営されていない
 - + 修繕履歴が効果的に活用されていない

【提供価値】

- デジタル化された設備台帳により、管理業務の効率化 や 劣化度の把握による修繕計画の検討・策定が可能となります。（安心安全なまちづくりに貢献）
 - 住民申告や修繕履歴を地理情報・設備情報とセットで記録（管理の体系化、品質向上）
- さらに **設備情報と住民申告、修繕情報の統合管理による維持管理効率の向上**

②提案内容

1. 提案概要

道路（付属物含む）・橋梁等の社会インフラの維持管理は、まだデジタル化の途上であり 設備台帳がデジタル管理され活用されているケースは多くない。本提案では、この設備台帳のデジタル化をドライブレコーダーやドローンを用いて簡易に実現するだけでなく、住民申告情報や空洞調査結果、修繕対応等の管理も統合することで効率的で質の高い住民対応を図る。

2. 事業スキーム

従来道路管理者が担っていた道路や橋梁の巡視や設備台帳整備 と住民窓口業務を、本提案においては一元的にPPP事業者にて担うことで、両業務間の情報の統合管理を行い、維持管理効率を向上させるものである。また、窓口からの情報連携に基づいた現地対応を行うことで、さらなる迅速性の向上に貢献する。



【先進性】

- デジタル設備情報を基に、劣化情報・住民申告情報、修繕履歴を掛け合わせることで、市町内の設備が網羅的に把握でき、客観的データに基づいて修繕の優先順位付けが可能。（EBPMに貢献）
 ※将来的には修繕計画策定への活用を想定
- 現地対応者、職員が同一の情報で確認することができるようになるため、認識齟齬の防止に寄与。

【有効性】

- デジタル設備情報に合わせて、現地の画像データを確認することで、住民申告後に現地確認に関わる稼働の削減、ビジネスチャットを活用し、修繕協議・手配等対応を行うことで、間接稼働の削減に貢献（約40%）

【汎用性】

- 同様の課題を保有している自治体に対しては、設備管理・住民申告受付・現地対応業務を一元対応する仕組みにおいては、PPP事業者が担うことで、汎用的に展開が可能となる。

ドライブレコーダー×AIによる設備抽出イメージ

